

平成 31 年度 公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	高等学校「現代倫理 新訂版」 (清水書院)						
副教材等	自作教材						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

現代に生きる自己の課題について、先哲に学ぶ

2 学習の到達目標

人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者と共に生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	人格の形成と他者と共に生きる主体としての自己の確立に努める実践的意欲をもつとともに、これらに関わる諸課題を探究する態度を身に付け、人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	人間の存在や価値などについて多面的・多角的に考察し探究するとともに、良識ある公民として広い視野に立って主体的かつ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	青年期における自己の形成や人間としての在り方生き方などに関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、これらを他者と共に生きる主体としての自己の確立に資するように活用している。	青年期における自己の形成や人間としての在り方生き方などに関わる基本的事柄を、他者と共に生きる主体としての自己確立の課題とつなげて理解し、人格形成に生かす知識として身に付けている。
評 価 方 法	出席状況 授業準備 授業態度 授業プリント	定期考査 授業プリント レポート	定期考査 授業プリント レポート	定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	青年心理と心理学	<ul style="list-style-type: none"> ・人生の中の青年期 ・自分を見つめる ・社会を生きる ・心理学の基礎 	○	○	○	○	a: 人間関係と心理に関する関心 b: 人々の生活と心理を多面的に考察しているか c: 生活と心理の関係を読み取れているか d: 人間と心理の知識を身につけている。	定期考査 授業プリント レポート
後期	古代ギリシア哲学	<ul style="list-style-type: none"> ・ソクラテス ・プラトン ・アリストテレス 	○	○		○	a: よく生きることに関する関心 b: 人々の生活とアイデアを多面的に考察しているか c: 質料と形相の関係を読み取れているか d: 古代ギリシア思想の知識を身につけている。	定期考査 授業プリント レポート
	世界の宗教と文化	<ul style="list-style-type: none"> ・キリスト教 ・イスラーム ・仏教 ・日本の宗教 	○		○	○	a: 宗教に関する関心 b: 宗教を多面的に考察しているか c: 宗教と文化の関係を読み取れているか d: 世界宗教の基本的知識を身につけている。	定期考査 授業プリント レポート

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
c: 資料活用の技能 d: 知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

- ・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。